

令和4年度 ビジネス基礎 シラバス

沖縄県立 沖縄水産 高等学校

| | | | | | |
|-------|--|---|---------------|---|---------------|
| 教科 | 科目名 | 単位数 | 対象学科・系列 | 対象学年 | 使用する教科書 |
| 商業 | ビジネス基礎 | 4単位 | 総合学科 流通ビジネス系列 | 1年 | ビジネス基礎 (実教出版) |
| 科目の目標 | <p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおりに育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> | | | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 趣旨 | ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。 | ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。 | | ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わりビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。 | |

| 月 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の観点 | | | 評価規準 (評価方法) | | | 指導 時数 |
|--------|-----------------------|--|-------|---|---|---|---|--|----------|
| | | | 知 | 思 | 態 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 4 5 | 第1章 商業の学習とビジネス | 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス | ○ | ○ | ○ | ・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。 | ・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 | ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 16 |
| 6 | 第2章 ビジネスとコミュニケーション | 1. コミュニケーション 2. ビジスマナー 3. 情報の入手と活用 | ○ | ○ | ○ | ・ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | ・ビジネスの場면을分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。 | ・情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 16 |
| 7 | 第3章 経済と流通の基礎 | 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通 | ○ | ○ | ○ | ・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 | ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 | ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 16 |

| | | | | | | | | | |
|----------|-------------------|---|---|---|---|---|--|---|----|
| 9 10 | 第4章 さまざまなビジネス | 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業 | ○ | ○ | ○ | ・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 | ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 | ・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 20 |
| 11 12 | 第5章 企業活動の基礎 | 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用 | ○ | ○ | ○ | ・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 | ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 | ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 20 |
| | 第6章 ビジネスと売買取引 | 1. 売買取引の手順 2. 代金決済 | ○ | ○ | ○ | ・取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 | ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 | ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 16 |
| 1 | 第7章 ビジネス計算 | 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用 | ○ | | ○ | ・ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 | 取引に関する課題を発見し、課題への対応策を考案することができる。 | ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 20 |
| 2 3 | 第8章 身近な地域のビジネス | 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向 | ○ | ○ | ○ | ・さまざまな地域のビジネスについて理解している。 | ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。 | ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 | 16 |